

## 平成 26 年度決算概要報告

### ◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H26決算	H26 当初予算	予算差引 (①-②)	H25決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計	65,475	65,080	395	63,577	1,898	【附属2病院】診療経費の増(+1,023) 【法人全体】職員人件費の増(+803)
経常収益合計	65,797	65,038	758	64,268	1,528	【附属2病院】附属病院収益の増(+986) 【法人全体】運営費交付金収益の増(+459)
経常利益	321	▲41	362	690	▲369	
臨時損失	10	-	10	13	▲2	
臨時利益	3	-	3	469	▲465	
当期純利益	314	▲41	356	1,146	▲832	
目的積立金取崩額	121	41	80	145	▲23	
当期総利益	436	-	436	1,292	▲855	

経常収支比率※	100.5%	99.9%	0.6%	101.1%	▲0.6%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用
---------	--------	-------	------	--------	-------	-----------------------

<法人共通コメント> ※数値は対前年度決算比

【費用】(+1,898百万円)

- ・附属2病院において、主に消費税の増税及び医薬収益の増に伴い、医薬品費や材料費などの診療経費が増加しております。(＋1,023百万円)
- ・給与減額措置の終了や人事委員会勧告等による給与改定の影響により、職員人件費が増加しております。(＋803百万円)

【収益】(+1,528百万円)

- ・附属2病院において、入院単価や入院患者数の増による入院収益の増加に伴い、附属病院収益が増加しております。(＋986百万円)
- ・消費税増税対応による交付額の増や資産取得の減に伴い、運営費交付金収益が増加しております。(＋459百万円)

【その他】

- ・臨時利益の減(▲465百万円)は、25年度に職員の退職一時金制度変更により過年度積立額を減少させたことによるものです。

<セグメント人件費振替額>

※振替対象人件費は、「常勤教員の給与・賞与・諸手当」となります。

	H26振替額①	H25振替額②	前年度差引 ①-②
大学 医学部臨床系教員	70	94	▲24
附属病院教員	347	313	33
センター病院教員	▲417	▲407	▲9

<凡例>

- ・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見だ目の計算結果が合わないことがあります。
- ・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。

項 目	H26決算	H26当初予算	予算差引(①-②)	H25決算	前年度差引(①-④)	対前年度増減理由
教育経費	1,540	1,614	▲73	1,524	16	授業料減免(+8)、基幹システム更新に伴う維持費減(▲30)、理科館負担金(▲42)、再整備引越等経費(+77)、光熱水費(+16)
研究経費	3,028	2,740	288	2,983	45	理科館負担金(▲42)、光熱水費(+25)、受託研究費(+136)、イノベーションシステム整備事業交付減(560→454)に伴う費用減
人件費合計	6,990	7,093	▲102	7,032	▲41	
役員人件費	40	40	-	35	5	
教員人件費	4,952	4,940	12	5,014	▲61	教員人件費 ・給与(+51) ※医療ニーズ対応(+40) ・退職手当(▲137)
セグメント人件費振替額	70	151	▲81	94	▲24	職員人件費 ・給与(+43) ※H25給与減額措置による増(+33)、H26給与改定による増(+13)
職員人件費	1,656	1,689	▲33	1,624	31	・非常勤職員(▲12)
退職給付引当金繰入	270	270	-	263	6	数理計算上の差異(+8)
一般管理費等	693	721	▲28	751	▲57	再整備引越等(▲17)、人事給与システム更新による維持費減(▲5)修繕費減(▲18)
減価償却費	871	946	▲74	761	110	・H26.3導入NMR償却費増(+153※総額14億円)、旧基幹システム償却終了(▲36)、受託研究資産取得増に伴う償却増(+15)
経常費用合計	13,126	13,115	10	13,053	72	
運営費交付金収益	6,810	6,848	▲37	6,736	73	学費対象経費交付増(+44)、消費税増税分等交付増(+139)、退職手当(▲137)、資産取得減に伴う収益増(+20)
授業料収益等	2,984	2,845	138	2,972	12	●授業料+18(26億→26.2億)在籍者増等 ●検定料▲10(90→80) 志願者減(一般選抜) ●入学金+3(280→283)
外部資金合計	2,353	2,078	275	2,290	63	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	1,172	850	321	964	207	獲得額+300(927→1,227) ※うち間接経費+55(147→202)
奨学寄附金	577	596	▲19	563	13	獲得額▲159(673→514) ※うち間接経費▲12(61→49)
補助金	604	631	▲26	762	▲157	イノベーションシステム整備事業交付減▲106(560→454)
資産見返負債戻入	715	796	▲81	627	87	・H26.3導入NMR償却(+153※総額14億円) ・旧基幹システム償却終了(▲36)
雑益等	609	540	68	647	▲38	・科学研究費補助金間接経費▲85(336→251)※厚労受託へ一部移管 ・再整備引越等にかかる横浜市負担額+42(48→90)
経常収益合計	13,473	13,109	364	13,274	198	
経常利益	347	▲6	353	221	126	
臨時損失	3	-	3	2	-	
臨時利益	3	-	3	49	▲45	H25職員退職一時金制度変更による過年度積立額の減少(47)
当期純利益	348	▲6	354	268	79	
目的積立金取崩額	43	6	37	110	▲66	理科館負担金(▲84)、数理計算上の差異(+6)、その他施設整備費用充当分の増
当期総利益	392	-	392	378	13	

人件費比率※1	51.9%	54.1%	▲2.2%	53.0%	▲1.1%	
経常収支比率※2	102.6%	100.0%	2.7%	101.7%	1.0%	

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益  
第2期中期計画目標値:53%未満  
※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H26決算	H26当初予算	予算差引(①-②)	H25決算	前年度差引(①-④)	
診療経費	12,209	12,164	45	11,646	562	消費増税(+339)
うち医薬品費	5,026	4,941	85	4,761	264	消費増税(+136)、医薬収益の増
うち材料費	2,958	2,724	234	2,780	177	消費増税(+79)、医薬収益の増
うち光熱水費	624	617	7	565	58	消費増税(+16)、単価増(電気+17・ガス+20)
教育・研究・受託研究・一般管理費等	433	429	4	487	▲53	H25:医療事故賠償金計上(▲31)
人件費	10,899	10,746	152	10,418	480	
教員人件費	1,373	1,473	▲99	1,372	1	
セグメント人件費振替額	347	306	40	313	33	
職員人件費	8,939	8,730	209	8,499	440	H25給与減額措置による増(+131)、H26給与改定による増(+78)、欠員補充等に伴う増(+227)
退職給付引当金繰入	239	237	2	233	5	
減価償却費	1,156	1,299	▲142	1,243	▲87	病院情報システム償却終了(▲209)、手術支援ロボット(+60)、アンギオCT・X線CT(+29)
経常費用合計	24,699	24,640	58	23,797	902	
運営費交付金収益	2,289	2,283	6	2,091	198	
運営交付金交付額	2,647	2,647	-	2,669	▲21	
資産取得分等(施設設備等)	▲358	▲325	▲33	▲577	219	固定資産の取得減(▲266)費用進行基準(退職金)の残(+47)
附属病院収益	21,782	21,496	286	20,994	788	
うち入院収益	14,682	14,401	281	13,928	753	入院患者数の増(+256)、手術件数の増(+131)、消化器内科(内視鏡センター)の収益増(+228)
うち外来収益	6,906	6,877	28	6,857	49	
資産見返負債戻入	355	342	12	330	24	
補助金等収益	64	93	▲28	163	▲98	補助金充当事業の終了及び補助率の減少
雑益等	498	407	90	430	67	H25医療事故賠償金の保険金(+31)
経常収益合計	24,990	24,623	367	24,010	980	
経常利益	291	▲17	308	213	78	
臨時損失	7	-	7	10	▲3	償却中資産の除却
臨時利益	-	-	-	196	▲196	H25職員退職一時金制度変更による過年度積立額の減少(186)
当期純利益	283	▲17	300	399	▲115	
目的積立金取崩額	49	17	32	17	32	手術支援ロボット保守相当額の充当(+21)
当期総利益	333	-	333	416	▲82	

入院単価	69,459円	68,449円	1,010円	66,950円	2,509円
入院患者数(のべ数)	209,760人	211,140人	▲1,380人	206,394人	3,366人
病床利用率	87.9%	88.5%	▲0.6%	86.5%	1.4%
平均在院日数	14.9日	15.1日	▲0.2日	15.1日	▲0.2日
外来単価	14,540円	14,638円	▲98円	14,637円	▲97円
外来患者数/1日	1,932人	1,913人	19人	1,910人	22人
手術件数	5,871件	5,711件	160件	5,711件	160件
看護師数	719人	730人	▲11人	716人	3人
医薬材料費比率 <sup>※1</sup>	36.7%	35.7%	1.0%	35.9%	0.7%
人件費比率 <sup>※2</sup>	50.0%	50.0%	0.0%	49.6%	0.4%
経常収支比率 <sup>※3</sup>	101.2%	99.9%	1.2%	100.9%	0.3%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益繰入額、繰越額はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額  
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益  
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数: 15日未満
- ・医薬材料費比率: 35%未満
- ・人件費比率: 50%未満

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H26決算	H26当初予算	予算差引(①-②)	H25決算	前年度差引(①-④)	
診療経費	13,879	13,575	303	13,417	461	消費増税(+385)
うち医薬品費	5,497	5,169	327	5,318	178	消費増税(+154)
うち材料費	3,711	3,629	82	3,637	74	消費増税(+104)
うち光熱水費	754	755	-	716	38	消費増税(+20)、電気料金、ガス料金の値上げによる増
教育・研究・受託研究・一般管理費等	414	486	▲71	423	▲9	消費増税(+8)
人件費	12,106	12,017	88	11,719	386	消費増税(+5)
教員人件費	2,318	2,274	43	2,251	67	退職手当(+27)、医師増(+5人)による増
セグメント人件費振替額	▲417	▲458	40	▲407	▲9	
職員人件費	9,903	9,891	11	9,570	332	H25給与減額措置の終了による増(+150)、H26給与改定による増(+88)、退職手当(+17)、看護師・事務等常勤職員増(+7人)及び診療医・研修医等非常勤職員増(+14人)による増
退職給付引当金繰入	301	309	▲7	305	▲3	数理計算上の差異(▲3)
減価償却費	1,250	1,244	6	1,166	83	H25.12導入重症系部門システム(+12)、借入金を財源とした固定資産に係る減価償却費の増(+62)
経常費用合計	27,650	27,323	326	26,727	923	
運営費交付金収益	1,344	1,252	91	1,155	188	
運営交付金交付額	1,644	1,644	-	1,452	191	施設整備経費予算の増加(+99)退職金市負担分の増加(+54)借入金償還金補助の増加(+36)
資産取得分等(施設設備等)	▲299	▲391	91	▲296	▲2	
附属病院収益	25,191	25,292	▲101	24,992	198	
うち入院収益	17,060	17,147	▲87	16,861	198	単価及び患者数の増による増
うち外来収益	7,761	7,821	▲59	7,776	▲14	
資産見返負債戻入	312	302	9	283	29	
補助金収益等	94	92	1	108	▲14	補助金の廃止及び補助率の減少による減
雑益等	390	365	24	441	▲51	医師賠償責任保険収入の減(▲47)
経常収益合計	27,332	27,305	26	26,982	349	
経常利益	▲317	▲17	▲299	255	▲573	
臨時損失	-	-	-	-	-	
臨時利益	-	-	-	223	▲223	H25職員退職一時金制度変更による過年度積立額の減少(223)
当期純利益	▲317	▲17	▲299	479	▲796	
目的積立金取崩額	27	17	10	17	10	
当期総利益	▲289	-	▲289	497	▲786	

入院単価	70,705円	71,541円	▲836円	70,170円	535円	
入院患者数(のべ数)	240,366人	238,407人	1,959人	239,145人	1,221人	
病床利用率	90.7%	90.0%	0.7%	90.2%	0.5%	
平均在院日数	13.7日	14.0日	▲0.3日	13.8日	▲0.1日	
外来単価	15,947円	16,169円	▲222円	15,978円	▲31円	
外来患者数/1日	1,985人	1,974人	11人	1,986人	▲1人	
手術件数	7,625件	7,500件	125件	7,656件	▲31件	入院手術▲51件、外来手術+20件
看護師数	910人	938人	▲28人	906人	4人	
医薬材料費比率※1	36.6%	34.8%	1.8%	35.8%	0.7%	
人件費比率※2	48.1%	47.5%	0.5%	46.9%	1.2%	
経常収支比率※3	98.9%	99.9%	▲1.1%	101.0%	▲2.1%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額 + 当期医薬材料購入額 - 翌月(年)繰越額) / 附属病院収益  
繰入額、繰越額はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数: 15日未満
- ・医薬材料費比率: 33%未満
- ・人件費比率: 50%未満